

交換留学帰国報告書

記入 | 2020 年 5 月
所属 & 学年 | 工学部マテリアル工学科 4 年
卒業予定 | 2022 年 3 月

留学先大学	フロリダ大学
留学先国	アメリカ合衆国
留学期間	約 9 ヶ月 (3 年次に留学)
留学開始 - 終了	2019 年 8 月 20 日 - 2020 年 5 月 1 日

A. 留学に至った経緯や留学準備について

- ① 留学する大学や国、プログラムを決めた理由を教えてください。

世界をけん引する Amazon や Facebook があり、世界経済の中心でもあるアメリカに憧れがありました。留学先選定にあたって工学系の授業とビジネス系の授業に興味があり、ダブルメジャー制で多様な国からの留学生とともに学べる環境が魅力でフロリダ大学を志望しました。

- ② 留学を志したきっかけや経緯、動機などについて教えてください。

1 年生の時スコットランド特別研修で短期語学留学に参加し、より長い期間、留学がしたいと思い交換留学を目指しました。

- ③ 留学前の海外渡航経験があれば教えてください。

渡航先	渡航時の学年	目的 & 期間など
スコットランド	1 年	エディンバラ大学特別研修 (語学研修、約 1 ヶ月)

- ④ 実際に留学準備を始めたのは応募した時期からどのぐらい前でしたか？

IELTS 試験対策を 1 年生の夏から始め、2 年生の春ごろ協定校について調べ、夏頃までに留学計画を立て秋に応募しました。

- ⑤ 海外留学室の個別相談を利用した方は相談回数や相談内容、参考になったことを教えてください (利用していない方は、利用しなかった理由や状況など)。

個別相談を 10 回以上利用させていただきました。
主に大学選びについてと学内選考の準備について相談に乗っていただきました。
個別相談を通じて自分の留学計画を練っていきました。

B. 留学前の語学対策や単位などについて

- ① 留学前の語学対策、TOEFL などの受験回数などについて教えてください。

まず名古屋大学で開講されている夏休み IELTS 講座を受講して Speaking と Writing の対策をしました。その後、講座でいただいたテキストと単語帳、過去問で学習を進めました。
受験回数 : 4 回

②単位取得、単位互換、教職履修などに関するアドバイスをお願いします。

履修のルールで名大の卒業が1年延びることが予め分かっていたので、現地では自分の専門分野以外にも興味がある分野(経済・宇宙工学)も履修しました。
 現地についてからすぐの履修科目選定の際には、各部局のアドバイザーを通じて選定したり、教授にメールして受講許可を貰いました。
 予め名大で英文成績証明書を印刷して持って行くと prerequisite の確認が楽になり履修手続きがスムーズです。
 現地学生同士で GroupMe や WhatsApp などのアプリで授業のグループを作り情報共有しているケースが多いので、早めに他の生徒に声をかけてグループに入れてもらうと良いです。(グループホームワークもありました。)
 授業では多くの宿題や小テストが課されますがそれらをきちんとやっていたら、期末テストで多少失敗しても単位がとれるようになっています。

C. 授業や勉強について

①留学先で履修した科目と科目コード(例: MKG3001 Introduction to Marketing)、時間数、形態、授業の内容、履修方法、などについて教えてください。

Fall 2019

EAS2011 Introduction to Aerospace Engineering

月水金 9:35-10:25 3 credits

Prerequisite:力学(二体問題等を扱うので名大では力学Ⅱを履修しておくとうい)

大講義室で学生は100人ほど、教授はNASA勤務の経歴を持つかで、話上手で学生から人気でした。NASAに就職志望する学生が多かったです。

授業ではMatlabを用いて機体に関する諸数値の計算・グラフ化を行うため、プログラミングをある程度やってから臨むとスムーズだと思います。

ECO3704 International Trade

月水 13:00-14:55 4 credits

Prerequisite:マクロ経済学・ミクロ経済学

40人ほどの教室で国際貿易を学ぶ授業。

教授は国際問題に精通しておりユーモアがあるので、なごやかな雰囲気での授業。

交換留学生にも人気で、先生が生徒に質問を投げかけ各国からの生徒がそれぞれの意見を発表するため、様々な国目線での意見が聞けて良かったです。

EMA3010 Materials

月水金 8:30-9:20 3 credits

Prerequisite:化学基礎

100人ほどの大講義室で、金属・半導体・高分子とあらゆる材料について学習する。

授業内容はやや難しめで履修範囲が広く、ついていくのに復習が必要。オンラインの学習サイトで宿題も出ました。試験はマークシート式で3回ありました。

PHY3221 Mechanics

月水金 16:10-17:00 3 credits

Prerequisite:力学

50人ほどの教室で古典力学について学習しました。宿題が頻繁に出されました。

たびたび難しい数学的な計算があるので微分積分の復習をしておくとういです。

MAR2290 Retail Management Seminar

金 10:40-11:30 1 credit

100人ほどの大講義室でのTEDトークのような授業。

授業はフロリダ大学出身の経営者がゲストとして招かれ、Microsoft や Walgreen など大企業のエグゼクティブの方がそれぞれのキャリアやユニークな経験を紹介。

学期に一回、希望のゲストとランチ会でお話ができる。

インターンに行きたい人や経営者になりたい人など多様な学生が受講していました。

Spring 2020

COP2271 Computer Programming for Engineers

金 8:30-10:25 2 credits

Matlabの基礎を学ぶ授業。EAS2011を履修する前にこちらを履修しておく良かったと思いました。

生徒は40人ほどで、5人組のグループで課題を相談しながら解いていくというスタイルでした。事前に授業内容に関する動画とスライドが配布され予習してから授業に参加しました。

ECP3703 Managerial Economics

月水 9:35-11:30 4 credits

Prerequisite: ミクロ経済学・微分積分学

様々な市場において企業の利潤を最大化するために経営者の取るべき行動について学びました。教授が頻繁に学生に意見を求め、学生はそれに対し積極的に発言をしていました。

他の学生からも意見が飛び交い活気のある授業でした。

ENT3003 Entrepreneurship

月水 13:00-14:50 4 credits

起業に必要なマインドセットを学びました。

与えられた課題に対して自分のアイデアをブログにまとめ、URLを提出しました。

課題はマーケットリサーチやビジネスプランの構築など多岐にわたり、90秒で自分のビジネスプランを紹介するElevator Pitchなども行われました。

日本ではなかなか学ぶことのできない起業に至るまでのプロセスを事細かに学ぶことができるので、日本人学生も多く受講していました。

PHY3101 Introduction to Modern Physics

月水金 17:10-18:00 3 credits

授業内容は特殊相対性理論に始まり、量子物理学、統計物理学、固体物理学、素粒子論までを学びます。授業内容は非常に面白いのですが、難易度がかなり高く、1学期の間に700ページある教科書を終わらせるため、復習が追いつかず脱落していく生徒が散見されました。

②授業を受けるにあたって、心掛けていたこと、どんな努力や工夫をしていましたか？

教授に聞きたい時はOffice hourや授業の時間を使って質問に行きました。日本に比べて課題の量が多いので、宿題が出された日に作業量を振り分け毎日コツコツ進めて行きました。

テストや宿題は情報戦なので現地学生と情報共有しながら必要な対策を講じていました。

③学習面で困ったことはありましたか？どのように解決しましたか？

Aerospace Engineering の授業で専門単語が多く授業や試験で困りましたので、各科目の専門単語を予習するようにしました。
 アメリカに着いてすぐの頃は英語が聞き取れず、授業中に当てられて戸惑ったりグループホームワークで意見を発表することが難しかったりしました。
 3か月たった頃には聞いたり話したりの悩みは解消されていきました。

D. 大学生活について教えてください。

①現地の雰囲気や大学の校風について教えてください。

フロリダ中部の田舎街ゲインズビルはフロリダ大学を中心とした学生街です。
 国際色豊かな3万人の学生を擁するキャンパスは広々としていて自然に溢れ、野生のアリゲーターが生息しています。
 大学スポーツが盛んでアメフト・バスケット・野球観戦を楽しめます。

②ネット環境、施設、周辺環境などハード面について教えてください。

学内に巨大なアメフトスタジアムがあり、秋学期にはゲイターズの試合があります。
 学生が利用できるジムがキャンパス内に2つあり、バスケットやフットサル、バレーボールなど多くのスポーツができる設備も整っていました。
 ネット環境は建物内であればキャンパス内どこにいても快適に使用できます。

③留学先でどのようにして現地の学生と交流を深めましたか（具体的にお願いします）？

国際寮ではアメリカ国内からの学生に加え、ヨーロッパやアジアからの留学生も住んでいました。寮のイベントをきっかけに友達になり、一緒にご飯に出かけたりラウンジで勉強するようになりました。お互いの誕生日をサプライズでお祝いしました。秋には日本文化を紹介するイベント Japan Festival を企画して多くの学生に日本文化を体験してもらいました。

④余暇の過ごし方（授業後や長期休暇など）について教えてください。

授業後は国際寮のラウンジで友達と一緒に勉強したりおしゃべりしたりして交友を深めました。テスト週間は24時間空いている Library West と理系用の図書館である Marston Library で勉強をしていました。
 キャンパスでは留学生向けの交流イベントやフットサル大会に参加して楽しかったです。
 週末の休みはデイトナビーチやオーランドへ、長期休暇にはフロリダからアクセスしやすいプエルトリコやヨーロッパなどに小旅行に行き見聞が広がりました。

E. 健康管理、保険、予防接種など

①健康管理あるいは衛生面について注意していたことはありますか？

コロナウイルスの影響もあり、手洗いをこまめに行い、予防を徹底していました。

②留学中に病院へ通った経験の有無、医療費などについて教えてください。

ヨーロッパ旅行の後で念のためコロナウイルスの PCR 検査をキャンパス内のクリニックで受けました。キャンパス保険のおかげで医療費は請求ありませんでした。

③加入した保険の種類について教えてください。

留学先の大学が用意した「キャンパス保険」への強制加入

* キャンパス保険でカバーされない部分は、個人保険に加入も含む

個人の保険のみ

キャンパス保険(医療保険)と個人保険(渡米から帰国までの旅行保険)の二重加入

④留学するにあたって、予防接種は必要でしたか？

はい(種類：B型肝炎、おたふくかぜ、はしか、風疹など)

いいえ

F. 住居、食事、マナーなどについて

①留学中の滞在先について教えてください。

形態	<input checked="" type="checkbox"/> 寮 <input type="checkbox"/> 下宿 <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> その他 ()
何人部屋	(2) 人 ※1人部屋～3人部屋の中から選べました。

②生活(住居、食生活、服装など)や習慣の違い(マナー、対人関係)、安全面などについて、困ったこと、気をつけていたことがあれば教えてください。

寮はトイレ・シャワー共用で、自分は二人部屋でフロリダ出身の子と相部屋になりました。机とパイプベッドとクローゼットがあったので、寝具など生活用品は現地のホームセンターTargetで買い揃えました。

ルームメイトと、寝る時間や掃除・ゴミ捨て、エアコンの設定について最初に話し合っルールを決めておいたのでトラブルなく過ごすことができました。

寮の各階にTAさんがいて安心でした。

パスポートやクレジットカードなどは自分はスーツケースに入れてロックしていました。

食事はミールプランがあるので3食バランスよい食事がとれました。

旅行などでレストランに行くときには15%～20%のチップの習慣があり、支払時にその割合を聞かれます。特にクレジットカードで支払いするときは、一度会計を済ませた後に店員さんがレシートを持ってきてくれるので、チップ代金を記入してサインして机においておけば大丈夫です。

③日本から持参するとよいもの、または持参しなくてもよかったと思うものは何でしょうか。

日本でアメリカのSIMを手に入れ、携帯をSIMにした状態で渡航したので、到着後すぐインターネットを使用できました。

クレジットカードは念のため2種類作り、現金はプレスティアで国際口座を開設し送金手数料なしで現地ATMから引き出しができるように準備しました。

送金システムは他にも良いものがあると思いますので、最新の情報をチェックしてみてください。

日本のお土産は富嶽三十六景の扇子やインスタント味噌汁、浮世絵柄のクリアファイルなどが喜んでもらえました。

冬は2週間から1ヶ月ほど冷え込みますので温暖なフロリダといえどトレーナー等の冬服を少し持っていくと良いです。現地でも買えますがサイズが合わなくて探すのが大変です。

④参考となる留学先国の情報(出版物、webサイト)を教えてください。

旅行や現地文化については地球の歩き方を参考にしました。

G. 留学費用について

① 留学費用や支出の管理などに関してアドバイスがあれば教えてください。

留学に必要な旅費・寮費・食費・保険費などは奨学金と名大の積立制度でなんとかまかさない
ました。
クレジットカードを使う生活なので使い過ぎに気を付けました。

② 奨学金はもらっていましたか？

はい （奨学金名：TOMODACHI 住友商事奨学金 支給額： 180 万円）

いいえ

③ 差し支えなければおおよその留学費用を教えてください。*内容の費目は自由に変えてください。

内容	金額	備考
渡航費	20 万	渡米がお盆時期だったので少し高めでした
保険代	12 万	(渡米と帰国) 東京海上の旅行保険 5 万 (滞在中) 大学指定の ISP 医療保険 7 万
予防接種	11 万	予防注射 2 回と英文証明書
ビザ代	4 万	申請料・大阪日帰り
住居費	月 6 万	キャンパス内の国際寮の二人部屋
食費	月 6 万	3 食・週 7 日のミールプラン
教科書代	5 万円	教科書は Amazon で中古を購入しました。

H. 今後の進路や目標、就職活動について

① 卒業後の進路（進学、就職、その他）について教えてください。

進学

就職

その他（ ）

② 今後の進路や目標があれば教えてください。また留学の前後で、進路や目標に対しての考え方や気持ちの変化があれば教えてください。

どこの大学院を目指すかを現在検討中ですが、将来は国際的な仕事に就きたいと考えています。フロリダ大学で経済学や航空工学に触れることで、更にビジネスやプログラミングへも興味が広がりました。

③ 留学中に就職活動を行った方は、具体的なエントリー、一時帰国の時期、感想などを教えてください。海外留学生用の就職活動を受けた場合はそれに関する情報もお願いします。

大学院へ進学する予定のため就活はしませんでした。もし 4 年で就職するならボストンキャリアフォーラムに参加したと思います。

I. 留学を終えて感じること

① 留学を終えて今の率直な気持ちや感想、印象に残っていることなど教えてください。

フロリダ大学に到着して最初の 1 週間は新しい環境に慣れるのに苦労しましたし、授業についていくのもやっとでしたが、留学プログラムをなんとか無事終わることができ今ホッとしています。帰る頃には友達との会話もスムーズにできるまでになりました。
アメリカ社会の仕組みや生活・文化を肌で感じることができ、また、色々な国からきた異なるバックグラウンドを持つ友人にたくさん出会ったことは代えがたい貴重な経験となりました。

毎日が刺激的で忙しくも楽しく充実したあつという間の9カ月でした。留学準備はとても大変でしたがそれ以上に得るものが多く「アメリカに留学でき本当に良かった！」と幸せに感じています。

②留学したことで、何がどのように変わったと思いますか？

留学中は現地の生徒や他の留学生たちとの交流の中で、様々な文化に触れ自分の価値観が変わっていくのを感じました。

多様な人種・文化に対して寛容なアメリカで過ごしたことでオープンマインドな心を養うことができました。

③現在、留学を考えている学生へのメッセージをお願いします。

多くの方が留学に対して「大変」というイメージを持っていると思います。

たしかに英語力や資金の準備と現地での生活文化や価値観の違いなど、容易なことばかりではありません。しかし留学を終えて振り返ってみると、あの時頑張っただけよかったなと思えます。

少しでも興味を持っているのであればまずは短い期間でもいいので留学にチャレンジして新しい世界を広げてください。

◆自由記述欄◆

